

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年2月2日
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2022年1月5日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	メンフィス大学(日本語名) The University of Memphis(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2022年8月～2022年12月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期: 8月下旬～12月上旬 2学期: 1月上旬～5月上旬 3学期: 4学期:
学生数	約 22000 人
創立年	1912 年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (USドル)	日本円	備考
授業料	9,100	1,274,000 円	1ドル=140 円計算
宿舍費	3,715	520,100 円	
食費	900	126,000 円	
図書費	60	8,400 円	教科書の eBook 費用
学用品費	40	5,600 円	ギターの授業の備品レンタル費用
携帯・インターネット費	0	0円	
現地交通費	70	9800 円	UBER タクシー代(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	500	70,000 円	
医療費	30	4200 円	ツベルクリン検査費用
保険費	約 376	52705 円	形態:明大サポート
渡航旅費	約 2850	400,000 円	
ビザ申請費	160	22,400 円	
雑費		円	
その他	約 2150	300,000 円	旅行費用
その他		円	
合計	19,951	2,793,140 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:メンフィス 経由地:ダラス	
復路 出発地:ニューヨーク 目的地:羽田 経由地:	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:390,940 円	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL ウェブサイト) <input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前: Carpenter Complex) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 4 人)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学の案内

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

マットレス、机、椅子は最初から置かれていました。ただマットレスのカバーやブランケット、枕等はないので次の日に買い物に連れて行ってもらえましたが持っていけるようなら持って行っても良いと思います。マットレスやカーペットの床のせいかなミの被害にあいかゆみがひどかったのかゆみ止めがあると良いと思います。被害にあったらオフィスに言えば駆除してもらえていたところもあったので相談すると良いと思います。お皿や調理器具はルームメイトが持ってきたものを使わせてもらっていました。基本的に冷房が効いていて寒いので暖かい布団やシーツを買うと良いと思います。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所: 自宅療養、大学のヘルスセンターも利用できた。)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省に在留届を提出した際に入れたメールアドレスに広域の情報が届きます。また事件が起きた際には大学メールあてにアラートが届きます。近くで事件が起きた際はルームメイトに寮の中であっても外に出ないほうが良いといわれたのでその通りにしました。また、基本的には外には一人で出歩かないほうが良いといわれていました。帰宅が夜になる際は友人が寮のところまで一緒に歩いてくれたこともありました。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や学校の WiFi で問題なく使用できました。またソフトバンクのアメリカ放題を利用したので SIM は変えずに行くことができました。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本はクレジットカードで支払うようにしていました。現金は渡航前に 50,000 円ほど両替して持っていきましたが十分でした。カナダにいて現金が必要だったときはクレジットカードのキャッシング機能で現金を引き出しました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

洗濯ネット複数枚、ムヒなどのかゆみ止め、のど飴(龍角散などの強めのもの)、自炊するのであればお箸、レンジで調理できるタッパー

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

Fly wire というサイトを通して銀行振込で支払いました。授業開始までに支払いを済ませれば大丈夫でした。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Culture/Change around World	文化人類学
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	2022 年 8 月～12 月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 85 分が 2 回
担当教授	Edward Maclin
授業内容	ルーマニアとソビエトの問題、タイのゴーストと社会問題、アラスカの気候変動と社会問題など細かい部分にフォーカスして社会問題とその他を絡めながら学習しました。
試験・課題など	テーマごとに異なる本を読みその内容についてディスカッションをしました。そのため毎週のリーディングの量が膨大でした。中間試験と期末試験は先生の作ったスライドから出る簡単なクイズがあり、最終レポートは 5～7 ページ書いて、それについてプレゼンも行いました。
感想を自由記入	リーディングの量が多く100 ページを超えることもあり大変でした。ディスカッションが多く、また生徒中心に進む授業だったので他の生徒から学ぶことも多く学びの多い授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Sociology		社会学	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	2022年8月～12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に55分が3回		
担当教授	Cynthia Stockton		
授業内容	資本主義の構造や社会運動について学んだ。		
試験・課題など	毎週末にオンラインのクイズとディスカッションボードにその週の部分の教科書を読んだ感想とテーマに関連したトピックへの意見を書き込むという課題がありました。中間テストや期末テストはありませんでした。		
感想を自由記入	アメリカの制度で見る社会学なので新しい視点で学ぶことができた上に現地生徒の意見も授業内で聞くことができたので面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Multicultural Psychology		多文化心理学	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	2022年8月～12月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に85分が2回		
担当教授	Emily Srisarajivakul		
授業内容	人種や文化の違いによる心理状態の違いなどを学んだ。		
試験・課題など	全部で3つのエッセイとグループプレゼンテーション、授業内でディスカッションを何度か行いました。テストは中間と期末の2回ありましたが、オンラインで資料も閲覧可能であり、テスト前の授業で行うクイズの内容から出題される問題が多かったので難しくはありませんでした。		
感想を自由記入	留学生ということで先生が気にかけてくれていたので不安なことはすぐ聞くことができました。ディスカッションが白熱することもあり面白かったです。日本人としての視点をもつといえていたと思うことがあったので社会問題などにもっと目を向けて自分の意見を持つべきだったと思いました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Beginner Guitar		ギター	
科目設置学部・研究科	Music		
履修期間	2022年8月～12月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実習(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に85分が2回		
担当教授	Lily Afshar/Andrew Manka		
授業内容	クラシカルギターの音階やチューニングなど基礎を学び、Romanzaという曲を練習していました。		
試験・課題など	中間・期末ともにRomanzaという曲を弾くというものでした。		
感想を自由記入	人数が私含め4人しかおらずアットホームな雰囲気緊張せず受けることができました。先生が病気のため途中でかわったのですが、どちらの先生もできたらよくほめてくれたので楽しく授業を受けることができました。ギターは一学期30ドルほどで借りることができ、建物内のロッカーに入れておくことができました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Yoga Stretching/Relaxation		ヨガ	
科目設置学部・研究科	Physical Education		
履修期間	2022年8月～12月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	実習(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に85分が2回		
担当教授	Lashunda D Epps		
授業内容	筋トレやヨガのポーズ、栄養管理について		
試験・課題など	毎日の食事をアプリに記録してそれを提出することと、1マイル歩いてアプリに記録しスクリーンショットを提出する課題がありました。中間テストと期末テストは対面であり、専門用語などを書かなければいけなかったのが難しく感じました。		
感想を自由記入	週2回ある中の一回は筋トレで一回はヨガだったので思ったよりヨガができず悲しい思いをしましたが、近くの子と話す機会が多く交流をはかれたので良い面もありました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
マイナビ
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
未定
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学前に就活アドバイザーの方に就活の時期や自己分析のやり方などを相談に行きました。留学を通して経験したことはつらいことも多いと感じましたが、それを乗り越えたことで自分の強みに気づくことができましたと思います。 また国内だけでなく海外で就職することやインターンに参加することに興味を持つようになりました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	選考、出願
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	予防接種、ビザ、航空券準備
	8月～9月	渡航
	10月～12月	10月:中間試験、11月末～12月初め:期末試験
留学/帰国年	1月～3月	帰国
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学先であるメンフィスは黒人の方が多い地域で、日本とは大きく違う文化を体験できるのではないかと思い、ここを留学先として選びました。最初は南部訛りが激しい人もいて全く聞き取れないこともありましたが、結果としては訛りの強い英語に何度も触れたことで比較的どのような訛りでも聞き取れるようになったと感じています。

メンフィスは危険な地域だといわれていますが、一人で行動したり危ない場所に行かないという意識を持っていればそこまで危険ではないと思いました。それでも寮の隣で誘拐事件が起きたり銃乱射事件が起きたこともあったので、常に警戒したほうが良い状況にありました。

田舎地域なので車がないと何もすることがないので出かけるときは友達に連れて行ってもらったりUberを利用していましたが、基本的に不便なことが多く、友達がいたほうができることが多いかもしれません。日本語学科があり日本に興味のある生徒が一定数いるので、そういったコミュニティで友達を作ることができると思います。特に日本の古いアニメに詳しい人が多かったと感じましたが、アニメを知っていると話が盛り上がるきっかけになると思います。また最初のほうに学校内のウェルカムイベントが多くあるのでそれに参加すると友達もできるし、遊具や動物が学校に来ることもあったので楽しい思い出もできておすすめです。フリーのTシャツやフリーミールも多いのでよく行っていました。学内イベントは学校のInstagramで情報収集していました。

私は特にリスニングやスピーキングができず苦労したので、同じような方は留学前に会話表現を学ぶことや、映画などを字幕なしで見るなど実践的なリスニングの練習をしておくことで現地で生活することが少し楽になると思います。私は全く対策せずに行ったので表現の習得や性格に聞き取ることができるようになるまでに時間がかかってしまい後悔しました。

メンフィスは危険な地域といわれていますが、優しい人も多く、充実した時間を過ごすことができましたと思います。